

令和2年度 樟蔭中学校・高等学校 学校評価

1 めざす学校像

「高い知性」と「豊かな情操」を兼ね備えた、社会に貢献できる女性の育成をめざす

- 1 自ら学び、自ら考える力を養う総合的な学力を育む
- 2 自らの興味・関心を深め、能力・適性をさらに伸ばし、将来の目標を達成する力を育む
- 3 自らの判断に基づいた行動ができる自立性と、社会生活や学校生活における規範意識の涵養に努めるとともに、様々な教育活動を通して豊かな人間性を育む

2 中期的目標

- 1 学力の育成
 - (1) 授業の充実
 - (2) 朝の学習や補習の充実
 - (3) 新しいカリキュラムに基づいた授業の実施と各コース目標の達成
 - (4) 生徒へのサポート
- 2 豊かな人間性の育成
 - (1) 生活指導を通じた“Little Lady”の育成
 - (2) 発達段階に応じたキャリア教育の充実
 - (3) 励まし合いや思い遣りの心を養う教育活動の充実
- 3 進路の保証
 - (1) 高校3年生の進路希望の100%実現
 - (2) 中学生及び高校1年生・2年生に対する発達段階に応じた進路意識の育成
- 4 教員力の向上
 - (1) 授業力の向上
 - (2) 教職員の学校運営に係る体制づくり
 - (3) 教員研修と資質の向上
- 5 入学生の確保
 - (1) 「樟蔭ブランド」のアピール
 - (2) 新しいコースの取り組みについての徹底した広報活動
 - (3) 施設設備の充実
- 6 安全安心な学校づくり
 - (1) 教育相談の充実
 - (2) 安全確保の徹底

3 令和2年度 of 取組内容及び自己評価

	令和2年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	取組状況・達成状況・今後の改善方策
1 学力の育成	(1)授業の充実	ア.電子黒板やiPadなどの教育ICTを活用した、より魅力ある授業の展開 イ.女子校の特性を生かした学び合いによるグループ学習などのアクティブ・ラーニングの実践 ウ.「総合的な探求の時間」を通して、課題を設定し解決していく力を育成	ア～ウ 取組の有無 アンケート	ア.教員アンケートによると、電子黒板を利用している教員は約80%。他にiPadやTVを利用する教員も。(○) イ.グループ学習を授業に取り入れている教員は約50%(○) ウ.ほとんどの教員が、授業内容や方法についての工夫・改善に取り組んでいるという回答。(○)
	(2)朝の学習や補習の充実	エ.生徒の状況や課題解決に応じた、より効果的な朝の学習の実施 オ.明確な目的のもと、個々の生徒の実態に応じたきめ細かな放課後補習の実施	エ・オ 実施の有無	エ.中学1年の百マス計算や音読から始まり、中高におけるリスニングや小テスト、ペン字や読書など到達度を見ながら内容を変えて実施。(○) オ.希望者補習や指名補習など、きめ細かく実施。(○)
	(3)新カリキュラムの実施	カ.新カリキュラムの実施と、各コースの目標達成に向けた特徴ある取り組みの検討・実施 キ.新コースの目標達成に向けた学習における学力到達度や授業満足度の把握 ク.各コースにおける「総合的な探求の時間」の実施と、内容の検討・改善	カ・キ 実施の有無 アンケート ク 実施の有無	カ.教務部や各コース主任を中心に、進行管理と点検を実施。取り組みの修正は適宜。(○) キ.定期テストや小テスト、外部模試などを活用。コース別の授業に対する評価は、中学高校ともにコースによりばらつきはあるが、肯定的な回答の割合は平均すると、中学・高校とも約70%。宿題の少なさ等の不満もあり、各教科で状況を把握し対応。(△) ク.教務部や各コース主任、管理職が中心となり取り組みを実施。(○)

1 学力の育成	(4)生徒へのサポート	ケ.担任や教科担当、学年と分掌との連携による生徒の学力や学校生活状況の把握とサポート コ.Google Classroom を活用したオンライン授業の実施 サ.担任による定期的な個人面談の実施 シ.「キャリアサポート制度」の充実 ス.クラブ活動の外部指導員採用の検討	ケ～ス 実施の有無	ケ.各学期末の成績や模擬テスト等の結果を関係者で共有。また日々の生活状況についても適宜意見交換。(○) コ.自宅学習時の学力保障への取り組み。(○) サ.全員の保護者懇談は年2回実施。担任による個人面談は適宜実施。(○) シ.一部修正した新しい制度を開始し、さらに細やかな対応を実施。(○) ス.強化クラブに対して外部指導員採用。(○)
	(5)グローバル教育	セ.英語弁論大会及び英語暗証大会の実施 ソ.外国人教員による英検講座の実施 タ.海外研修の充実 チ.i-lounge によるイベントの実施 ツ.Skype を活用した国際交流の実施 テ.学内留学の実施	セ～テ 実施の有無	セ.コロナ禍の中、感染対策をとり実施。(○) ソ.2次対策を実施。(○) タ.新型コロナ感染拡大のため中止。(×) チ.新型コロナ感染拡大のため中止。(×) ツ.姉妹校である台湾の曙光女子高級学校とのオンライン交流会を実施。(○) テ. All English による心理学講座等を実施。(○)

2 豊かな人間性の育成	(1)生活指導を通じた“Little Lady”の育成	ア.挨拶・言葉遣い・身だしなみ指導や、集団生活におけるマナー指導の全校的な取り組み イ.情報モラル教育の徹底 ウ.クラブ活動における活動方針に沿ったクラブ指導の実施 エ.樟蔭レッスンの実施	ア・イ 実施の有無 アンケート ウ・エ 実施の有無	ア.挨拶運動や登下校指導、集会時の指導の実施に加え、日常の学校生活における注意等により効果は上がっている。「挨拶をよくしている 中学93%、高校83%」「ルールをよく守っている 中学93%、高校89%」(○) イ.講演会等を実施。(○) ウ.新型コロナ感染予防を徹底し実施。(○) エ.各コースの特色を生かした独自プログラムを実施。(○)
	(2)発達段階に応じたキャリア教育の充実	オ.望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識を身に付けさせるためのキャリアHRの実施 カ.興味・関心や能力・適性を理解し、将来について考えさせる段階的な取り組みを検討・実践 キ.年間キャリア教育プログラムの作成	オ～キ 実践の有無	オ～キ.進路指導部主導の高大連携講座や資格取得講座をはじめ、様々な説明会や体験行事を実施。また、高2・高3の進路HRにおける小論文対策講座など、HR等でいろいろな機会を利用して進路意識を高めている。年間キャリア教育プログラムについては、作成し教室等に掲示をするとともに適宜更新している。(○)
	(3)励まし合いや思い遣いの心を養う教育活動の充実	ク.人権教育行事の内容の検討と実践 ケ.視聴覚行事や校外活動、図書館活動の目的の再確認と進化 コ.様々な学校行事やHR活動、クラブ活動などを通じた仲間づくりと自主性の育成 サ.特別な配慮を必要とする生徒へのサポート体制づくり シ.「樟蔭スタイル」の導入・定着による望ましい人間関係づくり ス.ウガンダプロジェクトの充実 セ.ボランティア団体 CSA(=Community Support Association)の活発化	ク～セ 取組の有無	ク.弁護士による女性の人権授業や北海道修学旅行前のアイヌ民族についての人権学習などを実施。(○) ケ.学外での芸術鑑賞行事や中学校外学舎、夏の高原学舎やスキー学舎は中止(×)。図書館通信・アンケート等を活用した図書館活動は充実。(○) コ.積極的な生徒自治会の役員を中心に、体育祭はリモート形式で実施。また、中高合同の自治会活動が多く、自治会執行部役員だけでなく、その次のリーダーの活動も活発になってきている。(○) サ.サポート会議を適宜実施するなど、きめ細かな取り組みを進めている。(○) シ.細部の工夫・修正をしながら取り組んでいる。(○) ス・セ.CSA が中心となり生徒達から集めた文房具をウガンダに送る、ペットボトルキャップを集める活動、近隣の清掃活動等多岐にわたる活動を実施。(○)

3 進路の保証	(1)高校3年生の進路希望の100%実現	ア.学年と進路指導部の連携による進路指導体制の強化 イ.進路実現に向けての講習や補習、講演会や体験活動など、適切なサポート体制の再構築 ウ.看護医療・芸術身体各コースに対応する大学との連携による出口枠の拡大と保証 エ.卒業生による進路講演の実施 オ.総合型選抜や学校推薦型選抜への対応	ア～カ 取組の有無	ア～カ.希望する進路の実現に向けて、個人面談や進路HRを適宜実施して、きめ細かくサポートしている。小論文や面接に対しては、対策チームを設置して取り組んでいる。内部進学希望の生徒には、樟蔭女子大の教員による説明会や面談体験などを実施。外部大学進学希望生には志望校に応じた模擬試験を受験、個人面談において結果の分析・アドバイスを繰り返し行っている。(○)
------------	----------------------	--	--------------	---

	(2) 中学及び高校 1 年・2 年に対する発達段階に応じた進路意識の育成	<p>に向けた小論文指導・面接指導の充実 カ.大阪樟蔭女子大学各学部学科との連携強化</p> <p>キ.担任を中心とした、生徒一人一人の学力の把握と進路目標についての適切なアドバイス</p> <p>ク.進路指導部による様々な行事の継続・充実と適切なフォローアップの実施</p> <p>ケ.進路ニュースの発行</p> <p>コ.英語検定・漢字検定・数学検定等各種検定の実施</p>	キ～コ 取組の有無	<p>キ～コ.【中学】 全員受験の模擬試験を年間 5 回実施し、結果を分析・共有。生徒とも適宜面談している。また、オリエンテーションや長期休暇中の講習の実施、計画的な進路 HR で進路意識の育成を図っている。(○)</p> <p>【高校 1・2 年】 各コースの進路目標に応じた模擬試験や進路 HR を計画的に実施。各種補習や小論文指導などを通じて、目標達成への自主的な取り組みができるように導いている。また、大学の教員による出張講座や学部学科説明会により進路意識を高めている。(○)</p>
--	---------------------------------------	---	--------------	--

4 教員力の向上	(1) 授業力の向上	<p>ア.管理職による、教員の授業力向上に向けた指導・助言と様々な企画等の推進</p> <p>イ.授業アンケートの実施と結果の活用による授業力の向上</p> <p>ウ.研究授業の実施による授業内容・方法の相互チェックと改善</p> <p>エ.ICT 教育充実チーム、授業改革チームのリードによる授業改善への取り組み</p> <p>オ.校内授業研究チームによる教科横断の相互授業研究</p> <p>カ.ICT 教室の有効利用</p>	ア～カ 取組の有無 アンケート	<p>ア・イ・ウ.生徒全員による教科担当全員対象の授業アンケートを 7 月に実施。結果は個人別・教科別でまとめ、全員に提示。評価の高い教員の授業を見学。(○)</p> <p>エ.電子黒板等を活用した教育 ICT の充実へリードする電子黒板 ST と、学び合いを中心とした授業方法の改善に取り組むグループ学習 ST を統合した ICT 教育充実チームによりさらなる充実を図っている。(○)</p> <p>オ.一部の教科において教科横断の授業研究を実施。(○)</p> <p>カ.ICT 教室を積極的に利用し、iPad を活用した授業を実施。(○)</p>
	(2) 教職員の学校運営に係る体制づくり	<p>キ.運営委員会の活性化と、それを通じたミドルリーダーの育成</p> <p>ク.「各プロジェクトチーム」が授業力向上の方策を企画</p> <p>ケ.「デスクネット」の活用による会議のリストラ</p> <p>コ.新たな学事システムの導入による問題点の改善</p> <p>サ.各部署、各委員会、各教科での業務の課題の確認と改善</p>	キ～サ 取組の有無	<p>キ.学校の運営に係る議論を活発にして、ミドルリーダーの育成をめざしている。(○)</p> <p>ク.どの分掌にも属さない緊急性のある諸課題について、希望者からなるチームで迅速に対応できるように努めている。(○)</p> <p>ケ.十分に活用できている。(○)</p> <p>コ.業者による勉強会を実施し、改善できるところは改善している。(○)</p> <p>サ.問題点を洗い出し、改善すべき点があれば改善推進。(○)</p>
	(3) 教員研修と資質の向上	<p>シ.「到達目標システム」による目標設定と達成度チェック、管理職との面談</p> <p>ス.管理職による授業観察やアドバイスと、生徒による授業アンケート結果の授業への反映</p> <p>セ.ICT 機器の活用に向けた技術習得研修の実施</p> <p>ソ.生徒や保護者への対応能力と危機管理意識の向上に向けた教員研修の実施</p>	シ～ソ 実施の有無	<p>シ.提出された目標設定シートをもとに、管理職と面談を実施。(○)</p> <p>ス.すべての授業を観察し、生徒による授業アンケートの結果も踏まえて面談している。(○)</p> <p>セ.できるだけ多くの教員が参加できるように、日時の設定にも配慮している。(○)</p> <p>ソ.全教員に対する管理職による研修が終了。(○)</p>

5 入学生の確保	(1) 「樟蔭ブランド」のアピール	<p>ア.これまでの広報活動の検証を踏まえ、広報室を中心とした学校全体による組織的・積極的な広報活動のさらなる展開</p> <p>イ.学園広報との連携の強化とマスコミへの積極的な働きかけ</p> <p>ウ.地元をはじめ、様々なイベントへの積極的な参加・協力</p> <p>エ.リニューアルしたホームページのさらなる活用</p> <p>オ.公立中学校及び塾に特化したより効果的な広報活動の工夫と実践</p> <p>カ.広報イベントのあり方の検討と実践</p>	ア～ク 取組の有無	<p>ア.これまでの広報活動の検証を踏まえ、変化する生徒や保護者のニーズを把握して、新しいコースや専科を設置することや新しい入試制度を実施することにより、入学生の確保に努めている。(○)</p> <p>イ.広報ツールの新たな活用やマスコミへの働きかけを行っている。(○)</p> <p>ウ.あらゆる機会を捉え、クラブや自治会を中心に取り組みを進めている。(○)</p> <p>エ.より楽しく充実した内容となるように、様々な工夫をしている。(○)</p> <p>オ～ク.いろいろな調査により、効果的な広報活動の方法と内容の工夫・実践を続けている。(○)</p>
-------------	-------------------	--	--------------	---

		キ. 様々な広報ツールの開拓と実践 ク. 同窓生への広報活動の充実 ケ. 樟蔭イングリッシュアカデミー (SEA) の実施 コ. 満足度調査の実施と結果の分析及び改善への取り組み サ. 重点塾、公立中学、地域の検討と担当者の配置 シ. 中学・高校のウリの整理とアピール方法の検討	ケ～シ 取組の有無	ケ. コロナ禍の中、感染対策をとり実施。(○) コ. 調査の結果、80%超の生徒が「学校に行くのが楽しい」と思っており、保護者の満足度も 80%超となっている。満足度が 80%に届かない項目については分析・改善を実施中。(△) サ. 重点塾、中学、地域の検討をし、担当者を配置。場合によっては管理職も同行した。(○) シ. レクチャーを徹底し実施。(○)
(2)新しいコースの取り組みについての徹底した広報活動	ス. 中学校及び高校に設置したコースについての目標や学習内容の積極的周知活動 セ. 中高大の連携による体系的な教育体制の構築と広報 ソ. CS クラスの充実 タ. メディア企画室による広報手段 (マスコミ、WEB) の拡大 チ. 広報ツール (パンフレット、チラシ等) の検討と活用	ス～チ 実施の有無	ス. これまでの取り組みの評価すべき点や修正すべき点を明確にして設置したコースについて、積極的な広報活動に努めている。(○) セ. 大阪樟蔭女子大の一部の学部学科との連携を進めており、他の学部学科との連携強化も推進している。(○) ソ. 新たな学びの場を増やし、ニーズに対応。(○) タ. デジタルコンテンツを活用した広報活動を積極的に取り入れている。(○) チ. 受験生にわかりやすく魅力のある広報ツールを作成し活用。(○)	
(3)施設設備の充実	ツ. 14号棟・19号棟・20号棟教室 LED 化改修工事 テ. 14号棟の自火報設備改修工事 ト. 中高体育館の大型冷風機購入設置 ナ. 情報教室のパソコンの入れ替えの検討 ニ. 電子黒板入れ替えの検討 ス. 教員用パソコン入れ替えの検討 ネ. 中学校の机・椅子の入れ替え		ツ～ネ. 今年度から来年度にかけて、すべて計画通り実施する予定である。(○)	

6 安全安心な学校づくり	(1)教育相談の充実	ア. 担任等による個別相談を中心とした相談体制づくり イ. カウンセリングマインドについての研修による担任等の教育相談力の向上 ウ. 担任、スクールカウンセラー、コーチングスタッフ (CS) との連携による一人一人のサポート エ. いじめ早期発見のためのアンケート (生徒・教員)	ア～エ 取組の有無	ア～エ. すべて実施しており、さらなるきめ細かな体制づくりに努めている。(○)
	(2)安全確保の徹底	オ. 避難経路の徹底と実地訓練の実施 カ. 救急救命訓練の実施 キ. 自転車安全利用の促進講習の実施 ク. 災害時の生徒用備蓄品の設置 ケ. 学校危機管理マニュアルの点検 コ. 緊急連絡体制の整備	オ～コ 実施の有無	オ・カは中止。(×) キ～コ. 実施した。(○)

4 自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見

自己評価アンケートの結果と分析	学校評価委員会からの意見 (令和3年3月24日)
○生徒[令和2年7月実施] 学校生活や家庭での状況や意識について、20項目についてのアンケートを行った。そのうち、肯定的な回答が特に多いもの(概ね8割以上)の一部を挙げる。また★印は9割以上のもの。 ・授業の雰囲気は良い ・ルールやマナーを守り、節度ある行動がとれている(★) ・挨拶をよくしている(★) ・学校へ行くのは楽しい ・今のクラスが気に入っている ・友人と協力して様々なことをすることができる	<学校案内パンフレットについて> 保護者向けというより、生徒が読みたくなるパンフレットである。印象○。 <広報について> ① おおさか東線により、通学圏が広がっていること ←今はあまり生徒の通学圏が広がっていないが、北摂地域へのアプローチをしつつあることは肯定的に受け止められた印象。 ② 本校の広報に対するイメージ ←毎年戦略を変えてアグレッシブに行っているイメージで好印象。 ③ SNS 戦術

<p>・学校内にいろんなことを話せる友人がいる(☆) ・家の人とはよく話をする(☆)</p> <p>コロナ禍の中、学校生活に不安を抱える生徒が増えるのではないかと心配したが、全体的な傾向は例年と同様であり、学校生活の満足度や友人との関係についての評価はかなり高い。また他者と協力して生活をしているという評価が昨年度より高くなった。</p> <p>○保護者[令和2年10月実施] 学校の様々な取り組みについての満足度調査を実施した。その結果、中高合わせて全体的な保護者の満足度は高いもの(8割強)であり、保護者から見た生徒の満足度も概ね8割となっていた。特に「中学生の生活指導」、高3生の各項目についての評価が高い。入学理由については中高共に、「伝統と実績」「通学の利便性」「コースやクラブ」が高かった。また、本校生のイメージとしては高い順に、「明るい」「真面目である」「落ち着いている」となっている。</p> <p>○教職員アンケート[令和3年3月実施] 現在の取り組みについて、16項目についてのアンケートを実施した。生活指導や教育活動の取り組みに対する自己評価は昨年と同様高いものであった。特に自己評価が昨年に比べて高くなっているのは、学校の特色・授業内容や方法・生徒の自治会活動である。また、学校全体で取り組むべき課題に対する意識は向上しているが、学習面での取り組みや行事の在り方についてさらなる高みを目指し工夫・改善すべき点がある。</p>	<p>「樟蔭アンバサダー」など保護者を巻き込んでやってみるのもよいかもしれないという意見。</p> <p>大学の知名度を上げつつ、中高の知名度を上げていくような、学園の知名度アップにつながるやり方の提案。</p> <p><表現力の育成の取り組みについて></p> <p>① 表現力の育成に着目した理由 ←樟蔭は「美」を求めている。⇒内面(教養、生き方など)の美しさを追求＝自分をいかに表現するのか、自分のウリ・強みは何なのかにつなげる＝表現力の育成。 上記の理由に肯定的な反応だった。</p> <p>② 表現力の育成の発展型の提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「My time」は樟蔭のコンセプトとコンテンツがあっている。また今の時代にも求められている。 それにプラスして「主体的にやる生徒像」を求めるともっと良いかもしれない。 ⇒学校の魅力になる。 ・進学ではなくその一段上のレベルの、生徒が社会に出るときのことを考えて、社会接点、インターンシップ、企業接点、などを検討するともっと良いかもしれない。 ・今の女子は大学に雰囲気やおしゃれな感じを求める。「大学生と高校生のバディ制度」をプロジェクト化すると面白いかもしれない。 ・世間的に大小限らず、成果を発表する場を求める声がある。 ←発表によって自信をつけさせる取り組み。 今、大学が求める人材は、活動歴など自分にウリ(強み)がある生徒である。発表の場を設けることでそのような生徒の育成を目指しても良い。
---	---